（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター虹の家　放課後等デイサービス虹の家			
○保護者評価実施期間	令和　6　年　12　月　1　日	～	令和　6　年　12　月　31　日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	39名	（回答者数）	35名
○従業者評価実施期間	令和　6　年　12　月　1　日	～	年　月　日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和　6　年　1　月　29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団での活動を中心に行っていること	10名の活動や3名×2・4名等といった様々なグループに分けられるので活動形態やねらいによって集団の大きさを変化させて活動している。	小学校と連携を図り、子どもの課題に対してチームで取り組めるようになる事。
2	児童発達支援センターや学童保育が同敷地内にあること	交流会を定期的に行っており、放課後等デイサービスから学童（地域移行）へを視覚的にも意識して取り組むことを行っている。また、児童発達支援センターがあるので、職員の療育への取り掛かりや研修等にて療育に対して真摯に取り組んでいること。	他分野や医療系とも連携を図り、多方面から児童の発達に対して出来ることを取り組んでいきたい。
3	様々な活動ができるスペースがあること	広いグラウンドや療育室・遊戯室が在る為、活動の内容をグラウンド（園庭）であったり、室内であったりと変更することができること。掲示物を少なくして集中できる環境を提供できるようにしていること。	スペースを存分に活用した活動を継続していくこと。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所としての発信力	ＳＮＳ等の情報発信を行っていない。	ＳＮＳは行う予定は今のところないので、地域の行事に積極的に参加を行ったり、ボランティア活動を行ったりしていき、認知度を上げていく。
2			
3			